

## 目標達成計画

作成日：平成 26年 1月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 3 4 5	地域との連携で自治会には加入しているが、ご利用者と地域とのつながりや事業所の地域への貢献がなされていない。運営推進会議も地域の方の参加がほとんど無くない様子が簡素である。	1. 介護予防活動を通じて認知症や認知症予防の研修、実践を定例化する。 2. 草取りや町内清掃に参加し地域に貢献する。 3. 地域の方を交え園芸療法を進める事でご利用者との交流がもてる。	①町内のわいわい広場に参加、パンフレットを配布する。 ②母屋を利用し予防体操や勉強会を開催する。 ③町内の清掃活動に参加する。 ④災害時の避難、連絡場所としての役割を提案する。 ⑤園庭を開放し気軽に足を運んでいただく。 ⑥地域の保育園児に園庭の野菜など収穫してもらい食育に役立ててもらう。	12ヶ月
2	25 26 27 28 29 30	新人職員や新規職員が多くなり介護計画の理解度が低くなっていないかという思いからセンター方式を取り入れ、深く個人に関わり目を向けることで介護計画がさらに充実したものになる。	1. センター方式シートを利用し担当者がアセスメント、モニタリングが出来るようになる。 2. ご利用者の思いや意向が反映された介護計画ができる。 3. ご利用者本位の介護支援ができる。	①センター方式の勉強会を行う。 ②アセスメントシートを担当者が記入する。 ③モニタリングシートを変更することで理解し記入できるようにする。 ④担当者会議で計画内容について説明ができる。 ⑤スタッフ間で情報の共有ができる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注)完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。